

コンセルヴァトリーオ名古屋二期会研修所は、
魅力的なオペラ歌手になるための研修生を募集します。
経験豊かな講師陣による実践的な演習を通して
即戦力となるオペラ歌手を目指します。

2年制によるオペラ歌手育成コース

〈カリキュラム〉

開催日程

火・金(18時～21時)

入所式・ガイダンス:7月下旬予定

1学期 9～12月 2学期 1～3月 3学期 5～7月

年間授業数60回

開催場所

名古屋二期会スタジオ

*名古屋二期会本公演等の事情により、授業開催日程場所は
移動することがある。

演習内容

- ・舞台人としての役の心理描写、表現力を身に着ける。セッコ、
レチタティーヴォを含めたアリアの歌唱と演技力を身に着ける。
- ・日本オペラに必要な基本的所作を日本舞踊より学ぶ。

演奏行事

- ・年度末に演奏会を行う
- ・名古屋二期会オペラ本公演に合唱等で参加する。

★2年間のカリキュラム修了者には

- ・修了証書とともにディプロマを授与する。
- ・ディプロマ取得者は名古屋二期会準会員に推薦される。

〈講師〉

【指揮者】辻博之

【声楽】中井亮一(藤原歌劇団正団員)、森雅史(東京二期会会員)、相可佐代子(名古屋二期会会員)、
渡部純子(名古屋二期会理事)

【日本舞踊】西川文紀(西川流師範)

【ピアノ】重左恵里、新藤友梨、釣由美、久野明子(名古屋二期会登録ピアニスト)



©深谷義宣 / auraY2

辻 博之 / Tuji Hiroyuki

東京藝術大学音楽学部声楽科在学中から、オペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演にデビュー。その後も、九州交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団等と共演を重ねる気鋭の指揮者である。2021年には東京藝術劇場シアターオペラ、團伊玖磨《夕鶴》を指揮し、『音楽現代』誌に「活躍を期待する指揮者」として取り上げられる。また、新国立劇場オペラ研修所公演《悩める劇場支配人》はイギリス『オペラ』誌上で「優雅かつ的確な細やかさで、チマローザの音楽に脈々と流れる歓喜を引き出した」と評され、オペラ指揮者としての頭角を表している。舞台作品への劇音楽の作曲や、クラシック以外のアーティストとの共演等、垣根の無い音楽活動も積極的に行う他、幼児や子供との音楽活動に力を注ぎ、千葉県文化振興財団との幼稚園出張コンサートは10年で100公演以上を数える。楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、〈音楽を未来と繋ぐ活動〉にも力を注ぎ続けている。

〈組織〉

一般社団法人 名古屋二期会

理事長:水谷和樹

コンセルヴァトリーオ名古屋二期会

所長:菅沼綾子

運営理事:森本ふみ子(チーフ)、天野久美、荻和子